

# ゴミ工場

これら全てが

ゴミなのか？

神奈川県横浜市 小学3年  
秋山 一晴

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

以前、家族でゴミ工場見学に行きました。その前に少し予習をしました。僕達の地域のごみ工場では、1日に1,200トンのごみが焼かれているそうです。ゾウ1,200頭分の重さと聞いて、とてもびっくりしました。工場見学で一番おどろいたのは、ごみピットです。ガラスごしに下をのぞくと、とても深く大きな広場があって、その中に小さな粒が沢山ありました。よく見ると、その粒は全部、家の前のゴミ置き場に出ているような大きなごみ袋でした。小さな粒は、実は家の前のゴミ置き場から集められて来た大きなゴミ袋の山だったのです。実際に見てみると、予習で想像したよりずっと多くて、本当におどろきました。毎日そんなにたくさんのごみを出しているつもりはなかったけれど、これからは、もっとごみを減らすように気を付けようと思いました。使わなくなったおもちゃや本も、まだ使えるものだったら、まず年下の従兄弟に使って欲しくないか聞くようにしています。

# ゴミ置き場

## 分別監視

### するカラス

東京都武蔵野市 79 歳

鮎川 郁夫

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

私が住む団地のゴミ置き場には、生ゴミを出す曜日に限って一羽のカラスがゴミ置き場のフェンスに止まっていて、ゴミ出しの人間たちをジッと見ている。最初はゴミを漁ろうと待ち構えていると思い、つい「シッシツ」と声を掛ける。しかし落ち着いたもので「カー」とも鳴かず、また逃げもせず、堂々と吾を凝視している。まるで此のカラスがゴミ出しする人間たちの【分別法の可否】を監視しているのではなかろうか？と訝った。まるで哲学者の風情の様で恐れ入った次第である。

# 食い残し

# レシピ書き換え

# 悔い減らす

北海道札幌市 73歳

荒木 誠治

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

作りすぎたり、食べ残しがあった時は捨てずにレシピを書き換え、食材として生かして後悔をすることがないようにしています。

# 作り置き

# やめて食べ切り

# ワンプレート

滋賀県高島市 52歳  
石畝 秀高

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

フードロス削減に向けて作りすぎず適度な量を消費するように心がけていきます

# フードロス 食べる分だけ よそおうよ

神奈川県逗子市 小学5年  
石原 愛

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

きゅう食でも、家でも、食べる分だけよそって、フードロスをなくしたいという思い。

# おでかけだ ハンカチティッシュに エコバック

神奈川県藤沢市 小学4年  
石原 圭

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

SDGs12（つくる責任、つかう責任）に対して毎日の生活でできる事は何かを考えた時、エコバックを忘れないように持って出かけることが大切だと思いました。普段外出前にはハンカチとティッシュを持つのは習慣になっているので今後はエコバックを加えた3点セットでを持って出かけることを意識付けしていこうと思い川柳を考えました。

# AI を 酷使せずに 愛込める

静岡県浜松市 27 歳  
伊藤 雅紀

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

AI を酷使しないで愛を込めて使う様を作品に詰めました。

# 残飯は 完全循環 たい肥へと

神奈川県逗子市 小学5年  
伊藤 璃乃

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

残飯をリサイクルして再利用する。

# 資源ごみ

## きれいに出そう

## 捨てないで

神奈川県逗子市 51歳  
今村 麻里

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

可燃ごみを見ていると、洗って出せば資源ごみになるものが世の中に沢山あふれています。面倒くさがらず、ひと手間加える。こんな人間が世界にあふれて欲しいです。

# 子にせがまれて 保護猫迎え 笑顔増え

東京都葛飾区 41歳  
上田 芳雅

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

ボートレーサーの中には、この「保護猫活動」を行っている方がいます。知人にも同様に活動している方がいたので、話を聞きに妻と息子と訪れました。そこで保護されていた生まれたばかりの、虐待されていた猫と出会い、息子が一緒にお家で暮らしたいとせがんできました。1人息子につき、命の大切さや自分以外を思いやる大切さを感じてほしくて、保護猫を自宅へ迎え入れました。過酷な経験をした猫も家族として打ち解け、私や妻や息子も日々たくさんの笑顔になるのは、命の大切さを教えてくれた「ポテチ」と命名した家族の猫のおかげです。

# お得品

# 買って気付けば

# 不要品

東京都板橋区 42歳  
内村 朱希

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

「セール品でお得だから」「100均だし」などと、本当に必要なのかを考えずに買ってしまったものや、企業のマーケティング戦略に乗せられた無駄な消費をしてしまいます。結局は使わないまま捨てることもできず、不要なものが家に溢れ、それを収納するためにまた消費するという悪循環に陥っている自身の経験を詠みました。

# 一粒の 重みを知れば 無駄はなし

神奈川県逗子市 22歳  
大辻 海斗

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

この川柳には、日々の食事に対する“感謝と気づき”の思いが込められています。お米の一粒には、農家の人々の努力、大地と水の恵み、そして自然の循環があります。その小さな一粒を大切に思う心が、食べ物を粗末にしない姿勢につながります。飽食の時代だからこそ、「当たり前で食べられること」への感謝を取り戻し、食の背景にある命の重みを感じ常に当たり前で食べられるということに感謝をして欲しい、そんな願いを込めた一句です。

# もったいない 思い受け継ぐ 蚤の市

神奈川県逗子市 51 歳  
小澤 恵美

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

不要になってほごりをかぶっていても捨てられないものがあります。まだ使えるものを捨てるのではなく、知り合いに譲る、市町村のリサイクル回収に出す、フリマアプリやフリーマーケットで出品するなど、「もったいない」という思いを受け継ぐリサイクルやリユースの行動につなげていきたいです。

# 割引の シール手に取る ロス削減

大阪府大阪市 31歳  
柏本 知晟

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

コンビニでもよく見かけるようになった割引シール。期限が迫っていることが分かりやすく、それを手に取ることがロス削減に直結する行動になること、物価高の時代に家計にも優しいことをたくさんの人に知ってほしいです。

# 限りある

# 資源守ろう

# 工夫して

神奈川県逗子市 48 歳  
金丸 貴則

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

石油や天然ガスといった化石燃料は、現在の消費ペースが続けば約 50 年で枯渇するとの試算があり、この限りある資源の利用方法の見直しが必要かと思います。枯渇を防ぐ為に無駄な消費を削減し、持続可能な社会を築く為には、太陽光や風力といった再生可能エネルギーの導入と活用も積極的に進めなければなりません。さらに、技術開発によるエネルギー効率化や、エネルギーの使い方そのものに工夫を加えるなど、多角的な取り組みが求められています。限りある資源を次世代に繋ぐ為の意識変革と行動が必要かと思います。

# リサイクル 未知の未来に 会える日々

東京都世田谷区 39 歳  
河野 喜幸

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

リサイクルによって、まだ知らない、でもきっと明るい未来に出会えると信じています。

# 捨てニヤーで おきゃーりペット リサイくりゃん

愛知県犬山市 48歳  
紀藤 孝之

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

「捨てニヤーで おきゃーりペット リサイくりゃん」には、“捨てる”という行為を少しでも減らしたいという思いを込めました。ペットボトルや空き缶など、いったん役目を終えたものも、正しくリサイクルすれば、また“おかえり”と戻ってきます。「おきゃーりペット」の“おきゃーり”は、地元・名古屋の言葉で「おかえり」の意味。命あるペットへのやさしさと、資源への思いやりを重ねています。「リサイくりゃん」は、リサイクルと“にゃん”を合わせた造語で、楽しみながら地球にやさしくなれる未来を願って作りました。みんなで笑顔になれるリサイクルの輪を広げたいです。

# 吸い殻を 拾っているの なぜ子ども

東京都渋谷区 44 歳  
木村 恵子

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

息子の学校での『自身の住む街の問題点を考え解決する授業』に参加させてもらったのですが、「ポイ捨てをどう減らすか」という課題を立て活動し、その一環でたばこのポイ捨てやビールなどの大量の空き缶を子どもたちが拾ってくれていました。その姿を見たときに、「なぜ未成年で飲酒も喫煙も認められていない子どもたちが、飲酒や喫煙に対して責任を負うべき大人の尻拭いをしているのか」と大変憤りを感じました。豊かな地球を残してあげるべき対象の子どもたちに、大人の情けない行動の責任を負わせるのはもう終わりにしないと叫びたいのと共に、その情けなさに気付いてほしい、恥ずかしい行為をしているということに気付いてほしいという、大人へのメッセージとして詠みました。

# 食べ物は 残さず食べよう フードロス

東京都渋谷区 中学1年  
木村 裕斗

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

僕は食べ物が好きなので、フードロスについて調べたことがあります。年間のフードロスの量は、世界では13億トン、日本では612万トンです。これは、国民1人当たりになると一日お茶碗一杯分捨てていることになり、とても多いと感じました。また、その割合は、事業系のフードロス量は53%、家庭からは47%と半分も占めています。それならば、一人ひとりが家庭で食べるものを残さないことが大事だと思いました。まずできる第一歩、一人ひとりの意識で少しでも減るといいなと思います。

# ゴミのため

# くるしむ生き物

# へらそうよ

神奈川県逗子市 小学5年  
郡司 満智

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

ロス無くし

街からカラス

サヨウナラ

京都府京都市 80 歳  
小坂 武弘

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

食品ロスが多すぎるコンビニスーパー。食品販売やめればいい。日本国民食品全て配給制で。

# マイタオル エコでお洒落を 満たす幸

千葉県千葉市 58歳  
小林 容子

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

綺麗なトイレには、ペーパータオルや、エータオルが整備されていますが、資源を大切にすることを考えると、マイタオルが良いかなと思い、持ち歩いています。

# 世界中

# 食品ロスを

# へらしたい

神奈川県逗子市 小学5年  
小松 結奈

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

世界中の食品ロスをへらし、食品をムダにしないようにしたいと思った。

# 眠ってる

# キャリアのソコに

# エコバック

東京都北区 72 歳

小山 光一

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

旅行のおみやげを買って荷物を入れようとした時にエコバックがキャリアバックの下に入っていて取り出せない切ない思い。

# 端切れから 生まれ変わった ドール服

東京都荒川区 中学2年  
佐々木 玲奈

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

裁縫の途中で余ってしまい、本来捨てるはずだった布の端切れをドールの服にしてみたら素晴らしい出来に仕上がった経験から、余り物などであっても絶対に他に使い道はあるから捨てる前に立ち止まって考えてみて欲しい、という想いを込めました。

# 断捨離で 分ければ資源 輝き戻す

東京都板橋区 47 歳  
穴倉 孝彦

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

断捨離をしている際、捨てれば解決すると思っていましたが、些細な物が必要としている人がいるのでは考え、洋服 1、食器 1 つ、リサイクルするよう、妻と取り組んでいます。

# 使い切る 命も資源も 愛もまた

神奈川県横浜市 27 歳  
嶋崎 美樹

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

SDGs についてはまだ勉強中ですが、「つくる責任 つかう責任」というテーマを見て、自分なりに考えてみました。この川柳では、限りある資源を無駄なく使うことはもちろん、人生や愛情も大切に使い切ることが大事なのではないか、という想いを込めています。27 歳になり、時間やエネルギーの使い方を意識するようになった今、何かを「使い切る」ことは、責任でもあり、誇りでもあると感じています。うまく言葉にできているかはわかりませんが、SDGs は地球のことだけでなく、自分自身の生き方にもつながっているんだと、改めて気づかされました。

# 「手前取り」 つかう心と つくる愛

茨城県常陸太田市 61歳  
島根 勝則

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

「ものづくり」は、工場や技術のことだけではなく、人と人との思いやりを形にすることだと思います。消費者が「つかう責任」を果たすことで、生産者の「つくる責任」も報われ、持続可能な社会が育ちます。限りある資源を、思いやりの心で「つかい」、そして未来へ「つくり」「つないでいく」。そんな些細なことを意識した行動が将来の世界を救うこととなる。

# 分ける手間 地球の未来 分かる道

神奈川県逗子市 31歳  
新谷 つむぎ

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

ゴミの分別を煩わしく感じることもありますが、この手間ひとつが地球の未来を変えていくという内容です。

# 「もったいない」 口癖にする 危機管理

千葉県我孫子市 63歳  
須賀 毅

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

現在の日本は、飽食に近い感じではあるが、自給率は非常に低い。外交が滞り、いつ何時、飢餓社会になってもおかしくない時代に突入している。他国のことを気にしながら、自国の未来を見据えて真剣に考えていく必要があると感じている。第一次産業の重要性と、米粒一つを大切に作る時代もこれからの時代には必要ではないかと考えている。

# リユースして 天ぷらオイル 空を飛ぶ

神奈川県藤沢市 小学4年  
杉本 真要

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

使われた天ぷらオイルが、飛行機の燃料に再利用されている。地球を汚さないようにしよう！

# 作る物

# 最後は土に

# 帰る物

千葉県千葉市 70歳  
杉本 誠

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

最後は必ず分解される材料で物を作る義務付けを。

# 見切り品 宝探しの 晩ごはん

東京都渋谷区 44 歳  
鈴木 雅子

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

「晩ごはん何にしようかなあ」と買い出しへ。魅力的な見切り品を見つけると、まるで宝探しのよう嬉しくなります。令和2年度の日本での廃棄食品は、年間 522 万トン。見切り品を購入することは、食品ロスの削減、そして食費の節約につながります。環境を守ること、家庭を守ることにもつながる、手軽にできる社会貢献だと思います。

# 若くない 食べたい量より 食べれる量

神奈川県横須賀市 27歳  
砂川 茉莉花

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

昔のように沢山食べたい時もありますが、フードロスをなくす為にも見合った量を食べるようにしています。

# 使うもの ゴミにならずに リサイクル

神奈川県逗子市 小学5年  
高木 詠士

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

使わないものは作らずに必要なものだけ使えば海のゴミが減るし、11番にも関係する。

# 買う時は

# 3Rも

# わすれるな

神奈川県逗子市 小学5年  
高羽 榎

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

# 食べ残し

# 地球の未来を

# 食い尽くす

東京都江東区 46歳  
橋 信吾

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

この川柳は、私たちの日常に潜む「食べ残し」という小さな行為が、実は地球規模の未来を脅かす大きな問題につながっていることを表現しています。フードロス単なるもったいないことどまらず、飢餓や資源の不均衡、温室効果ガスの増加など、SDGsが掲げる多くの課題と直結しています。身近な食卓から始まる意識の変化こそが、持続可能な社会を築く第一歩です。食べ残しを減らすことは、未来の世代の笑顔を守ることにつながる。その強い危機感と希望を込めて詠みました。

# カバンから

# クシャ顔をした

# レジ袋

東京都足立区 54 歳  
豎谷 千映子

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

レジ袋有料化となった今では「レジ袋どうなさいますか？」「いりません」スーパーなどでバックからレジ袋を出して、そのレジ袋がクシャクシャになって使っている人を見かけます。何度も使用したと思われるレジ袋。以前は当たり前レジ袋がもらえて、たくさん家にもレジ袋がストックされていました。又、コンビニから出てくる人もお弁当をそのまま手にしている姿が見られました。仕事場で、時々のように、ゴミ袋を軽く洗って再利用するのを見かけました。衛生面、労力の事を考えると「うーん」と思うところもありましたが、心がけとしては良い考え方なのかとも思いました。小さなことでも一人一人の心がけ一つで大きな事となります。自分の状況と照らし合わせて、できる範囲で行動したいと思います。

# 森 想い

## 筆のたしなみ

### 一筆入魂

東京都世田谷区 47 歳  
田村 愛

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

趣味で書道を楽しんでいるのですが、書き損じる度に罪悪感に苛まれています。できるだけ少ない枚数で納得のいく作品が書けるように集中し、当たり前ですが書き損じた紙も筆の片付けに使用したり最終的にはリサイクルへ回すよう心がけています。でもやはり罪悪感。

# 慈しむ

# 思いを胸に

# 使いきる

福岡県大野城市 71歳  
俵坂 安彦

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

作り手の思いをしっかりと受け止めることが慈しみの感情を醸成し大切に使いきることに繋がると信じています。

# うみのなか

# さかなのごはんは

# プラゴミだ

青森県青森市 高校1年  
千田 立煌

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

海の中を自由に泳ぐ魚たちは、本来なら自然の恵みの中で生きるはずなのに、いま彼らの口に入るのは、私たちが便利さから使い捨てたプラスチックです。この句は、その現実をニュースで見たときのショックと、どこか「自分も加害者だ」という無言の罪悪感から生まれました。魚が食べるご飯がプラゴミになってしまった世界は、決して遠い話ではありません。私たちが毎日何気なく手に取るペットボトルや袋のひとつひとつが、やがて海へ流れ、命の食卓を汚していく。それを「悲しい」と言うだけで終わらせず、どうしたら変えられるかを自分の暮らしの中で考えたいです。一度便利さで汚してしまった海を、もう一度きれいにできるのも人間です。この川柳が、そんな小さな気づきのきっかけになればと思い、言葉をできるだけ削り、最後は静かに「だ」で終わらせました。すべての魚たちが再び本当のご飯を食べられる日が来るようにそんな願っています。

# 地球から 借りた時間を 子に返す

東京都豊島区 50歳  
寺師 淳一

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

私たちが日々使っている資源や環境は、実は「自分のもの」ではなく、未来の世代からの「借り物」だと捉えています。便利さを優先して消費し続ければ、子どもたちが生きる未来に負担を残してしまうかもしれません。そこで「借りた時間を子に返す」という表現にすることで、地球を守る責任と未来へのバトンを渡す想いを込めました。

# エコバッグ 忘れて買って また増える

神奈川県川崎市 43歳  
鳥羽 健

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

ビニール袋の有料化もあり、エコの為にエコバッグを購入していますが、買い物へ行くときについついエコバッグを忘れてしまったり、買い物の量が多いためエコバッグに入りきらないことが多々あります。どうせ必要との思いでエコバッグをその都度かってしまい、何の為のエコバッグか分からなくなってしまう。出かける際に常備しておく事と、買い物の際にはフードロスを抑える為にもエコバッグに入りきる量を心がけていきたいという思いを込めました。

# 裏紙の

# ギャラリー生んだ

# ちいさな手

山口県柳井市 44歳  
中島 優

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

5歳の息子が裏紙に描いた絵を部屋に飾っているうちに、一枚一枚に成長の跡が見え、親として胸が温かくなりました。捨てるはずだった紙が、親子の思い出と笑顔を生むギャラリーに。限りあるものを大切に使うことが、子どもの未来を守る力になると信じています。

# まだまだだ 続く未来が みえないよ

神奈川県逗子市 小学5年  
長嶋 深文

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

まだまだゴミがいっぱいでいるから、いまのままだと見えないから、もっとみんなで協力して未来を続けようよという想いで書いた！

# サステナで 選ぶ今日が 未来創る

神奈川県横浜市 34歳  
根本 華菜恵

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

常に意識をすることが大切だということをイメージし、この川柳をつくりました。日々の暮らしだけでなく、我々が提供するサービスにおいても常に意識を向け、持続可能なものなのかどうかこれからの我々の未来にかかっていると考えております。日々の業務や商品選び、サービスの提供といった一つ一つの選択が、持続可能な社会の実現につながることを表現しました。

# 練り歯磨き 最後はチューブ 輪切りにし

神奈川県平塚市 85歳  
野村 昌弘

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

メーカーが一生懸命に作った商品は、ユーザーがとことん使い切ることがマナーである。

# あのまんが めぐるおもいで さいせいし

愛知県清須市 43 歳  
則竹 翔

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

読んだまんがの思い出が巡るように、紙も心もまた再生させていきたい。そして、資源を大切に使いながら、文化や感動を次の世代へつないでいくこと。そんな持続可能な社会と、思いがめぐるやさしいこの先の未来を願って詠みました。

# 袋なし

# 選ぶあなたが

# 海を守る

神奈川県三浦郡葉山町 28歳  
原野 俊吾

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

最近、自炊をする機会が増え、買い物へ行く回数も以前より多くなりました。そのたびにプラスチック袋をもらう場面が増え、「この積み重ねが環境に影響しているのでは」と強く意識するようになりました。そこで、エコバッグを持参するなど、袋をもらわない選択を心がけるようになり、その小さな行動が海や地球を守る大きな一歩になると感じました。この気づきを川柳に込め、「日常の中でできる持続可能な選択」を表現しました。

# ペットボトル 捨てるはいいが 分別なし

東京都大田区 中学3年  
平嶋 茉奈

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

ペットボトルのリサイクルをしようとしているけれど、分別がめんどくさい人が多いです。新しいペットボトルを作るためにはリサイクルは重要です。そのため、分別をしてくれる人が増えていくことを願い作りました。

# 限りある 資源のバトン どこまでも

神奈川県逗子市 小学5年  
平戸 眞帆

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

地球にある資源の数を限られていますが、この限りある資源を将来にも有効に届けていきたいです。

# 食品ロス

# 飢餓はたくさん

# あるのにな

神奈川県逗子市 小学5年  
藤澤 美来

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

世界中にはごはんを食べられない人もいるのに、なんで食品ロスがあるの？という思い。

# 使ったら 最後までする エチケット

大阪府茨木市 19歳  
藤田 杏梨

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

つくること、使うことそれぞれ自分以外の人にも影響があります自分だけがいいという考えはやめましょう。

# 洗浄機

## ボトルが歪んでも

## 再利用

東京都荒川区 42歳  
藤本 悠介

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

本来使い捨てるペットボトルも洗って再利用すれば、また別の容器として生き返る。毎回洗浄機にかけることで中の熱によりボトルが歪んでしまうが、どんな些細なものでも資源を最大限に活かそうとする人の姿勢が垣間見える。

たべのこし

フードロスだよ

もったいない

神奈川県逗子市 小学5年  
丸山 美晴

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

食べのこしをするとフードロスになってしまうので自分の食べれる分だけ量を取って下さい。

つくったら

せきにんとして

使おうよ

神奈川県逗子市 小学5年  
道野 蒼大

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

# 見切り品

# 見切り品とで

# 母の味

山梨県中央市 44 歳  
薬袋 太一

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

見切り品大好きな母。少し手を加えることでそれは母の料理になります。母の味になることで、きっと食品ロスにも一役かっています。

# ミライまで キレイにできる ごみ拾い

大分県大分市 32歳  
森本 遥

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

朝職場へ出勤すると、毎日のように駐車場に捨てられているタバコの吸い殻やティッシュごみ…。匿名の無責任な行為にイライラしたり、なぜ自分が拾わなければならないのかと残念な気持ちでした。しかしごみ拾いを毎日繰り返すうちに、環境をよくしているのだと気づきました。ひいては未来をよくすることにつながり、環境に害を与えることを防いでいるのです。ちっぽけな行為に感じていたごみ拾いという行為が、実は立派な活動なのだとかうらしく思えるようになりました。

# 買ったもの 大事につかう 大切だ

神奈川県逗子市 小学5年  
柳 侑希

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

買ったものをすぐ捨てずに大事にずっと使うのが大切だと思ったから。



# 胸張って つくった物を バトンする

静岡県駿東郡清水町 83 歳  
柳谷 益弘

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

つくる側の誠意とそれを最後まで丁寧につかう側も大切なことである。

# 残り物

# 無駄なく使う

# 大切に

東京都板橋区 44 歳  
山本 佑治

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

世の中の沢山の物が本当は使えるのに捨てられてしまう状態をなくしていくと、食品ロスだけでなく、人や動物の体の栄養になり良い事ばかり無駄なものなど世の中にはないとゆう気持ちで、捨てる前に一度考えて行動していこうと思います。

# 人任せ 補充もせずに 無責任

東京都町田市 49歳  
和田 里恵子

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

ウォーターサーバーが空になっても交換しない、飲み物がなくなっても補充しない、自分で使った食器を流しに放置するなど「誰かがやる」と思っている人。ものの3分で終わることを自分でやらない。その放置した作業は他の誰かの時間を奪っています。便利さを享受するなら手間も共有すべきでは。

# 捨てないで！

# 出汁に変身

# アラ不思議

神奈川県藤沢市 30歳  
渡邊 純也

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

魚を卸した後に残ったアラからは料理のベースとなる美味しい出汁やスープがとれるので、捨てずに使って欲しいという想いを込めました。